

使っている花 ■ パンジー（絵になるマリーヌ、カルメン）、ローズゼラニウム

3月
March



パンジー

花言葉

もの思い/私を思っ

フリフリのパンジーと香りのハーブで
春の草花のサラダボウル

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 切り花で出回るパンジーはとても花持ちがよく、つぼみもよく咲きます。
- 生ける際は茎を切り戻しましょう。水替えの時にも必ず!
- 切り花栄養剤を使用すると水が汚れにくく、花もさらに長く楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①あらかじめ、パンジー、ゼラニウムの水に浸かる部分の下葉を取り除き、同じくらいの長さにカットしておきます。
- ②ボウル状の器に水と切り花栄養剤を適量入れ、ゼラニウムを器の縁を利用して低めに生けます。
- ③色とりどりのパンジーをこんもりとあしらいます。花顔が並ばないように凹凸をつけながら生けると、花一輪一輪がいきいきと美しく見えます。

ノスタルジックな愛らしさ

ひらひらと蝶のような、優しい水彩画のような、美しい色彩と愛らしさにキュンとします。名の由来は仏語「pensée(思考)」で、物思いにふける人の顔に似ているからだそう。19世紀にイギリスで育種が始まり欧米でブームに。現在は世界をリードする日本の育種力で、大輪でフリルが強く丈の長い切り花用パンジーが開発され、一躍人気に!

